



地域活性化住宅建設事業

10棟を建設

前川内活性化住宅（末吉町深川）

深川小近くに建設されている4棟の活性化住宅。
深川小学校の児童増につながっている。

3月定例会は、2月29日に開会し、3月27日に閉会しました。

今議会では、平成20年度当初予算や平成19年度予算の補正に関するもの、また曾於市後期高齢者医療に関する条例の制定他36件、道路特定財源の確保に関する意見書の発議が1件、審議可決・採択され、2008年4月後期高齢者医療制度に関する陳情1件が、不採択となりました。

平成20年度一般会計予算

204億円

前年対比 8.3%(15億6千万円)の増

◎当初予算

(賛成多数 可決)

本年度の一般会計予算は、平成19年度当初予算に対して、15億6千万円8.3%増の204億円であります。

歳入で市税は19年度とほぼ同じ30億5,718万円、地方交付税(普通交付税)は3.2%増の79億3,300万円、繰入金は財源不足を補てんするための財政調整基金や、国営畑地帯水源整備事業負担金、償還のための基金繰入により94.6%増の16億1,838万4千円、市債は32.7%増の29億280万円、公営住宅建設事業、地域活性化住宅建設事業、末吉中学校普通教室棟改築事業など大型事業や、国営畑地帯水源整備事業負担金の償還及び借換債による補償金免除繰上償還等が主なもの

です。

歳出では、人件費24%増の40億9,660万7千円、物件費は2.7%減の22億8,665万7千円、維持補修費は9.9%増の2億6,479万4千円、扶助費は0.1%増の28億7,409万9千円、補助費は県後期高齢者医療広域連合負担金により32.3%増の23億2,004万5千円、公債費は借換債による補償金免除繰上償還により26%増の34億2,981万4千円、普通建設事業費は、公営住宅建設事業、地域活性化住宅建設事業、国営畑地帯水源整備事業負担金、末吉中学校普通教室棟改築事業及びメセナ住吉交流センター泉源整備事業により49.6%増の37億8,135万6千円となりました。

◎条例

☆曾於市やまびこ館の設置及び管理に関する条例の制定について

(全会一致 可決)

本条例は、財部駅の駅舎が築後50年経過し、JRが建て替えの計画がないことから、曾於市の北の玄関口として、市が館を造り地域の活性化を図るものであります。

待合所、トイレを市が管理し、多目的ホールは、指定管理者に運営を任ずることである。活性化のために乗降客の増加を図り、イベント開催など地域の声を十分反映し検討するよう意見も付されています。

☆曾於市食育まちづくり推進基本条例の制定について

(全会一致 可決)

本条例は、市民一人ひとりが、食の安全・栄養及び

食料自給率の問題等に鑑み、健全な食生活を実践すると共に、豊かな食環境と日本型食生活等優れた食文化を受け継ぎ、次世代を担う子どもたちに生きる力を付けさせ、家庭、学校、保育所、地域、職場等相互理解を求め、総合的かつ計画的にすすめるための条例であります。

☆後期高齢者医療に関する条例の制定について

(賛成多数 可決)

本条例は、平成20年4月1日より、75歳以上の後期高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度の施行に伴い、鹿児島県後期高齢者医療広域連合と本市の役割を分担した中、本市の役割を明確にした条例であります。特に保険料の徴収関係、窓口の申請や届出、また保険証の交付等が主なものであります。

給食センター委託料 9,699万7千円

大隅・財部の給食センターを民間委託する。
約6,000万円の人件費削減につながります。



クローズアップ 新年度予算

国営畑地帯水源整備事業(東部畑かん) 10億4,301万4千円

繰上償還のための借り換え。このことによっ
て2億7千万円の負担軽減になります。



メセナ住吉交流センター泉源整備事業 8,441万1千円

ボーリング事業が7月終了予定、送湯管配管
工事が9月から実施されます。



乳幼児医療 就学前まで無料 7,679万4千円

6歳の誕生日まで無料だった医療費が、小学
校就学前まで無料となります。



後期高齢者医療事業 5億5,976万円

4月1日からスタートした後期高齢者医療制度。県後
期高齢者医療広域連合への市町村負担金が主なものです。



平成20年度一般会計 204億円はこのように使われます

| | | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| ☆市民サービスのために | 22億8,256万5千円 | ☆生きがいと健康のために | 67億2,931万5千円 |
| 議会費 | 2億1,490万円 | 民生費 | 53億4,203万9千円 |
| 総務費 | 20億6,766万5千円 | 衛生費 | 13億8,727万6千円 |
| ☆豊かな暮らしのために | 28億9,381万9千円 | ☆くらしと安全のために | 29億3,141万円 |
| 労働費 | 492万9千円 | 土木費 | 22億2,706万8千円 |
| 農林水産費 | 27億4,951万5千円 | 消防費 | 6億9,326万3千円 |
| 商工費 | 1億3,937万5千円 | 災害復旧費 | 1,107万9千円 |
| ☆文化と教養のために（教育費） | 21億1,307万7千円 | ☆返済のために（公債費） | 34億2,981万4千円 |
| ☆備えのために（予備費） | 2,000万円 | | |

(単位：千円)

| 会計名 | | 20年度 | 19年度 | 前年対比 | 被保険者数 |
|------------------|----------|--------------|--------------|--------|---------|
| 一 般 会 計 | | 204億円 | 188億4千万円 | 8.3% | |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 | 56億1,869万2千円 | 58億7,576万4千円 | △4.4% | 14,530人 |
| | 老人保健 | 8億603万2千円 | 68億6万9千円 | △88.1% | 7,892人 |
| | 後期高齢者医療 | 5億1,675万9千円 | - | 100% | 8,379人 |
| | 介護保険 | 43億1,350万2千円 | 40億6,251万6千円 | 6.2% | 14,115人 |
| | 公共下水道事業 | 4億6,720万円 | 4億3,868万5千円 | 6.5% | |
| | 生活排水処理事業 | 1億3,439万1千円 | 1億3,060万7千円 | 2.9% | |

水道事業会計 (単位：千円)

| 項目 | 20年度 | 19年度 | 前年比 |
|-------|---------|---------|-------|
| 収益的収入 | 538,153 | 532,786 | 1.0% |
| 収益的支出 | 495,055 | 502,065 | △1.4% |
| 資本的収入 | 258,700 | 138,100 | 87.3% |
| 資本的支出 | 472,442 | 321,751 | 46.8% |

◎特別会計

☆平成20年度曾於市国民健康
保険特別会計予算
(賛成多数 可決)

4月1日より後期高齢者医療保険の導入によって、75歳以上の扶養のお年寄りが外されたための減少であります。
☆平成20年度曾於市老人保健
特別会計予算
(賛成多数 可決)

この老人保健特別会計は、事実上、後期高齢者医療制度発足のためなくなります。
☆平成20年度曾於市後期高齢
者医療特別会計予算
(賛成多数 可決)

4月1日よりスタートする75

歳以上のお年寄りが加入する制度になります。基本的には年金から保険料が天引きされ、県内一本化されたものになります。
(反対討論の意見)
75歳以上のお年寄りの方が強制的に保険料を年金から天引きされ、生活ができない方が出てくるおそれがあります。保険料の滞納になると保険証を取り上げる仕組みになっており、お年寄りに早く死になさいと言っている大変問題のある制度であります。

(賛成討論の意見)

後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者が、その負担能力に応じて公平に負担する必要な制度であります。

☆平成20年度曾於市公共下水道
特別会計予算
(全会一致 可決)

旧末吉町が水質汚染による生活環境と大淀川の水質改善を目的に取り組まれた事業であります。
☆平成20年度曾於市水道事業
特別会計予算
(賛成多数可決)

市民が健康で豊かな日常生活等を支える上で、安心安全な水の供給が求められています。